デジタルカメラ

E-500

取扱説明書 基本編

● SSSこの取扱説明書は基本的な撮影と再生の操作について説明しています。詳しい機能については、別冊の応用編取扱説明書をお読みください。

● ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、海外旅行などの大切な撮影の前には試し撮りをしてカメラが正常に機能することをお確かめください。

● 取扱説明書で使用している液晶画面やカメラのイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。

オリンパス デジタルカメラのお買い上げ、ありがとうございます。

製品をご使用になる前に、カメラを操作しながらこの説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。また、お読みになったあとは、必ず保管してください。

- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。商品名、型番等、最新の情報についてはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止します。また、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品で撮影された画像の質は、通常のフィルム式カメラの写真の質とは異なります。

電波障害自主規制について

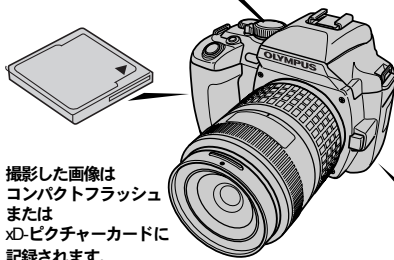
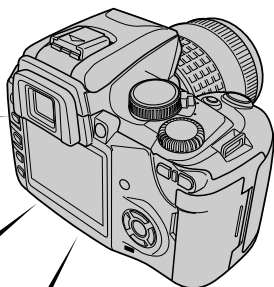
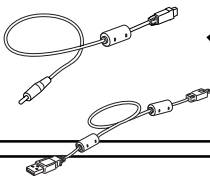
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
飛行機内では、離発着時のご使用をお避けください。
本製品の接続の際、当製品指定のケーブルを使用しない場合、VCCI基準の限界値を超えることが考えられます。必ず、付属のケーブルをご使用ください。

商標について

Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。
MacintoshおよびAppleは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
xD-ピクチャーカード™は商標です。
その他本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

カメラファイルシステム規格について

カメラファイルシステム規格とは、電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された規格「Design rule for Camera File system/DCF」です。

このカメラでできること

目次

カメラがすぐ使えるように、撮影前の準備、簡単な撮影と再生について順に説明しています。まず、この取扱説明書を読んで、基本的なカメラの操作をマスターしてください。

基本編に記載されていない機能については、別冊の応用編取扱説明書をお読みください。

別冊の応用編取扱説明書には以下のことが説明されています

- AUTO以外の露出モードでの撮影
- 撮影条件に合わせた撮影シーンの選択
- 好みに合わせた、フォーカス・露出・画質・画像のマニュアル設定
- 撮影した画像を見るときの方法や画像の編集
- カメラをさらに使いやすくする機能のカスタマイズ
- 撮影した画像のパソコンへの転送
- 撮影した画像のプリント

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この内容をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

製品の取り扱いについてのご注意

⚠ 警告

- **可燃性ガス、爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しない**
  引火・爆発の原因となります。
- **フラッシュを人（特に乳幼児）に向けて至近距離で発光させない**
  視力障害をきたすおそれがあります。
- **幼児、子供の手の届く場所に置かない**
  以下のような事故発生のおそれがあります。
  - 誤ってケーブル類やストラップを首に巻き付け、窒息を起こす。
  - 電池などの小さな付属品を飲み込む。万一飲み込んだ場合は直ちに医師に連絡し、指示を受けてください。
  - 目の前でフラッシュが発光し、視力障害を起こす。
  - カメラの動作部でけがをする。
- **ほこりや湿気、油煙、湯気の多い場所で長時間使ったり、保管しない**
  火災や感電の原因となることがあります。
- **フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しない**
  連続発光後も発光部分に手を触れないでください。やけどのおそれがあります。
- **分解や改造をしない**
  感電やけがをする原因となります。
- **内部に水や異物を入れない**
  火災や感電の原因になります。万一、水に落としたり、内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り電池を抜き、販売店や当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。
- **通電中の充電器、充電中の電池に長時間触れない**
  充電中の充電器や電池は、温度が高くなります。長時間皮膚が触れていると、低温やけどのおそれがあります。
- **専用の電池または充電器以外は使用しない**
  発熱、変形などにより、火災・感電の原因となります。またカメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故がおきる可能性があります。専用品以外の使用により生じた傷害は補償しかねますので、ご了承ください。

⚠ 注意

- **異臭、異常音、煙が出たりするなどの異常が生じたときは使用を中止する**
  火災や、やけどの原因となります。このようなときは、やけどに注意しながらすぐに電池を取り外し、販売店や当社修理センター、またはサービスステーションにご連絡ください。（電池を取り出す際は、素手で電池を触らないでください。また、可燃物のそばを避け、屋外で行ってください。）
- **濡れた手で操作しない**
  故障、感電の原因となることがあります。また充電器などの電源プラグの抜き差しは、濡れた手では絶対にしないでください。
- **カメラをストラップで下げて持ち運んでいるときは、他のものに引っかからないように注意する**
  けがや事故の原因となることがあります。
- **高温になるところへ放置しない**
  部品の劣化、火災の原因となります。
- **カメラの外装の金属部分に、長時間触れない**
  - 長時間お使いになると、カメラの温度が高くなります。金属部分に皮膚が触れたまま長時間使用を続けると、低温やけどを起こすおそれがあります。
  - 低温下にさらされていると、カメラの外装も低温になります。皮膚が貼り付いてけがをする場合があります。低温やけどや障害を防ぐため、できるだけ素手で扱わず手袋などをご使用ください。
- **充電器などのコードは傷つけたり、引っ張ったり、継ぎ足したりしない**
  コンセントからの抜き差しは、必ず電源プラグを持って行ってください。以下の場合はただちに使用を中止し、販売店や当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。
  - 電源プラグやコードが熱い、焦げ臭い、煙が出ている。
  - 電源プラグに傷、断線、またはプラグに接触不良がある。

電池についてのご注意

液漏れ、発熱、発火、破裂、誤飲などによるやけどやけがを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 危険

- **火中への投下や、加熱をしない**
- **＋－を金属等で接続しない**
- **金属製のネックレスやヘアピン等と一緒に持ち運んだり、保管しない**
- **直射日光のあたる場所、炎天下の車内やストーブの前面など、高温の場所で使用・放置しない**
- **直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしない**
  端子部安全弁の破壊や、内容物の飛散の原因になり危険です。火災・破裂・発火・液もれ・発熱・破損の原因となります。

- **電池の液が目に入ると、失明の原因になります**
  こすらずに、すぐ水道水などのきれいな水で十分に洗い流し、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 警告

- **電池を水や海水などにつけたり、端子部を濡らさない**
- **濡れた手で電池を触ったり持ったりしない**
- **所定の充電時間を超えても電池の充電が完了しない場合は、充電を中止する**
  火災・破裂・発火・発熱の原因となります。
- **外装にキズや破損のある電池は使用しない**
  破裂・発熱の原因となります。
- **電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしない**
  破裂・発熱の原因となります。
- **カメラの電池室を変形させたり、異物を入れたりしない**
- **液漏れや、変色、変形その他異常が発生した場合は使用を中止する**
  販売店や当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。
- **電池の液が皮膚・衣類へ付着したときは、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚に傷害を起こす原因になります。**

⚠ 注意

- **カメラを長時間連続使用した後は、すぐに電池を取り出さない**
  やけどの原因となることがあります。
- **長期間ご使用にならない場合は、カメラから電池を外しておく**
  液漏れ・発熱により、火災・けが・故障の原因となることがあります。

使用上の注意

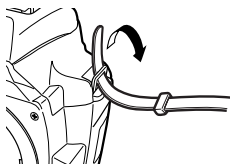
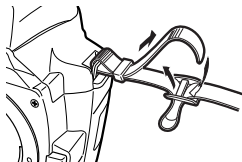
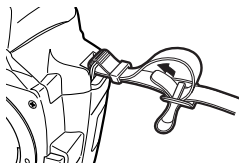
使用条件について

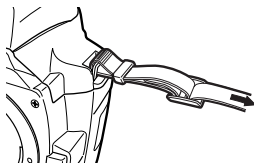
- 動作不良や故障の原因となる可能性がありますので、以下のような場所で長時間使用したり保管しないでください。
  - 高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所
    直射日光下や夏の海岸、窓を閉め切った自動車の中、冷暖房器、加湿器のそばなど
  - 砂、ほこり、ちりの多い場所
  - 火気のある場所
  - 水に濡れやすい場所
  - 激しい振動のある場所
- カメラを落としたりぶつけたりして、強い振動やショックを与えないでください。
- レンズを直射日光に向けて撮影または放置しないでください。CCDの退色・焼きつきを起こすことがあります。
- 寒い戸外から暖かい室内に入るなど急激に温度が変わったときは、カメラ内部で結露する場合があります。予めビニール袋などに入れて密封し、カメラを室内の温度になじませてからご使用ください。
- 長期間使用しないと、かびがはえたり故障の原因になることがあります。使用前には動作点検をされることをおすすめします。
- 電気接点部や交換用レンズには触れないでください。レンズを外したときは、ボディキャップを必ず取り付けてください。
- カメラのそばにクレジットカードや磁気定期券、フロッピーディスクなどの磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。

液晶モニタについて

- 液晶モニタは強く押さないでください。画面上ににじみが残り、画像が正しく再生されなくなったり、液晶モニタが割れたりするおそれがあります。万一破損した場合は中の液晶を口に入れないでください。液晶が手足や衣類に付着した場合は、ただちに石鹸で洗い落してください。
- 液晶モニタの画面上下に光が帯状に見えることがありますが、故障ではありません。
- 被写体が斜めのとき、液晶モニタにギザギザが見えますが、故障ではありません。再生時には目立たなくなります。
- 一般に低温になるにしたがって液晶モニタは点灯に時間がかかったり、一時的に変色したりする場合があります。寒冷地で使用するときは、保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した液晶モニタは、常温に戻ると回復します。
- 本製品の液晶モニタは、精密度の高い技術でつくられていますが、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、記録される画像に影響はありません。また、見る角度により、特性上、色や明るさにむらが生じることがありますが、液晶モニタの構造によるもので故障ではありません。ご了承ください。

ストラップを取り付ける

1 **ストラップの端をカメラ本体のストラップ取付部に通します。**

2 **矢印に従って、ストラップの端をリングに通した後、止め具に通します。**

3 **ストラップの端を止め具のもう一方の穴に通します。**

4 **ストラップのもう一方をピンと引いて、抜けないことを確認します。**

5 **手順1～4に従って、もう一方のストラップ取付部にもストラップを取り付けます。**

注意

- カメラをストラップで下げているときは、他のものに引っかかったりしないように、注意してください。けがや事故の原因となることがあります。
- ストラップは必ず手順にしたがって正しく取り付けてください。万一、誤った手順で取り付けたことでストラップが外れ、本体を落とすなどの事故が生じた場合、損害など一切の責任は負いかねますのでご了承ください。

電池を準備する

このカメラでは次の電池を使用します。

- **リチウム電池 CR123A（3本）**
- **リチウムイオン充電池 BLM-1**

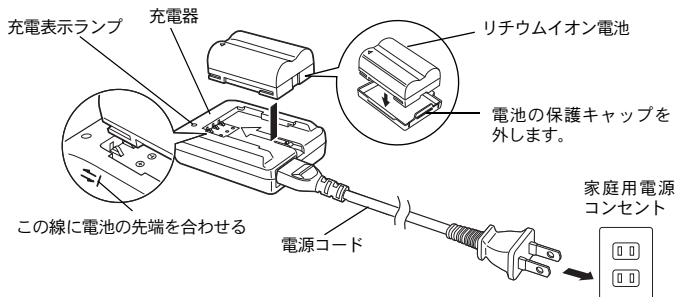
お買い上げの製品により付属の電池が異なります。これ以外の電池は使用できません。詳しくは別冊応用編をお読みください。

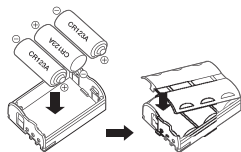
リチウムイオン充電池 BLM-1

リチウムイオン充電器BCM-2を使用して充電します。
お買い上げ時は十分に充電されていませんので、充電してからお使いください。

1 電源コードを接続します。

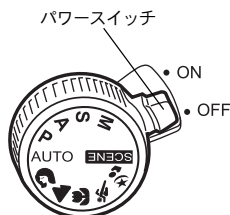
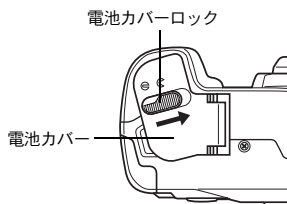
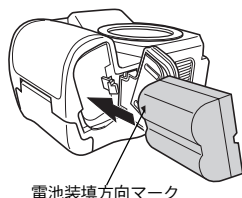
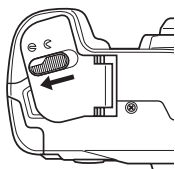
2 電池を充電器に装填します。

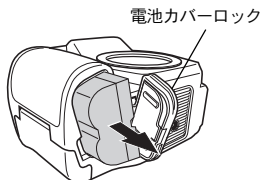
- 充電が開始されます。充電は約5時間で完了します。
- 充電ランプが赤から緑色に変われば充電完了です。

リチウム電池 CR123A

1 リチウム電池ホルダーLIBH-1に図のように入れます。

注意

- リチウム電池CR123Aは充電式電池ではありません。充電をしないでください。
- 電池容量が少なくなったら3本とも新しい電池に交換してください。
- カメラを使用しないときは、電池はケースに入れて保管してください。

電池を入れる

1　パワースイッチが OFF になっていることを確認します。

2　電池カバーロックを ⊂ の方にスライドし、電池カバーを開けます。

3　電池を図のように入れます。

4　電池を押し込みながら電池カバーを閉め、電池カバーロックを ⊖ の方にスライドします。

電池を取り出すとき

- パワースイッチが **OFF** になっていて、カードアクセスランプが点滅していないことを確認します。
- 電池カバーロックをスライドし、カバーを開けて電池を取り出してください。
電池カバーがとれたら、ヒンジ部を合わせてカバーをカメラに取り付けてください。

レンズについて

使用できるレンズ

撮影シーン、目的に合わせてレンズを選択してください。
レンズは専用レンズ（**フォーサーズマウント**）をご使用ください。専用レンズ以外では、オートフォーカス（AF)や正確な測光はできません。また、働かない機能があります。

フォーサーズマウント

オリンパスが開発した規格。フォーサーズシステムのレンズマウント規格。既存の35mmフィルム一眼レフカメラ用レンズシステムにとらわれず、デジタルカメラの特性にふさわしい光学設計に基づいて、新たに開発されたデジタルカメラ専用の交換レンズです。

ZUIKO DIGITAL**用交換レンズ**

過酷なプロユースにも耐えうるよう設計された「フォーサーズシステム」専用の交換レンズです。「フォーサーズシステム」の利点を活かすことで、大口径でありながら小型軽量化を実現しています。
フォーサーズシステム専用交換レンズには下記の他多くの製品を揃えています。

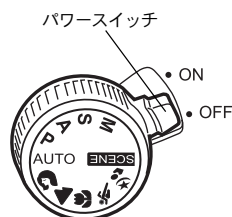
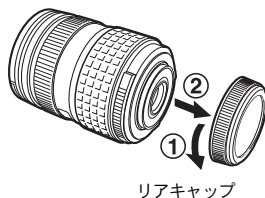
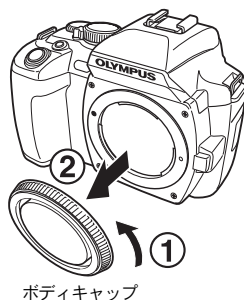
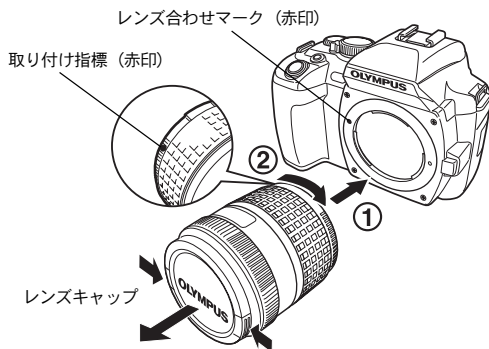
ZUIKO DIGITAL ED 50mm-200mm F2.8-3.5：
　35mmフィルムカメラ換算で100-400mm相当の超望遠ズームレンズ

ZUIKO DIGITAL 40m-150mm F3.5 ー 4.5：
　35mmフィルムカメラ換算で80-300mm相当の望遠ズームレンズ

注意

- ボディキャップやレンズの着脱を行うときは、カメラ内部へのゴミや異物の侵入を防ぐため、レンズの装着部を下に向けて行ってください。
- 埃の多い場所ではボディキャップの取り外しや、レンズの装着を行わないでください。
- カメラに取り付けられたレンズを、太陽に向けないでください。太陽光が焦点を結んで故障や火災の原因になることがあります。
- ボディキャップ、リアキャップをなくさないようにご注意ください。
- カメラにレンズを取り付けていないときは、埃の侵入を防ぐためボディキャップを装着してください。

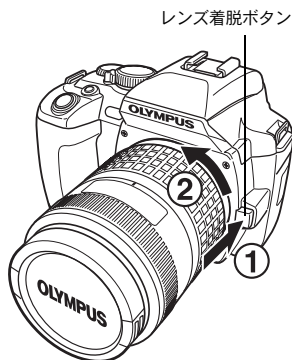
レンズを取り付ける

1 パワースイッチが OFF になっていることを確認します。

2 レンズのリアキャップを外します。

3 カメラのボディキャップを外します。

4 **カメラのレンズ合わせマーク（赤印）にレンズの取り付け指標（赤印）を合わせ、レンズをボディに差し込みます。レンズをカチッと音がするまで時計回りに回して、取り付けます。**

5 **レンズキャップを外します。**

レンズを取り外す

1 **パワースイッチが OFF になっていることを確認します。**

2 **レンズ着脱ボタンを押しながら、反時計回りにレンズを回して取り外します。**

カードについて

使用できるカード

本書では、記録メディアを「カード」と呼びます。このカメラで使用できるカードは、コンパクトフラッシュ、マイクロドライブ、xD-ピクチャーカード（別売）です。

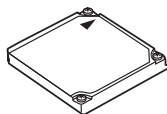
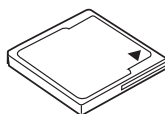
コンパクトフラッシュ

大容量かつ堅牢性の高いフラッシュメモリーカードです。市販のコンパクトフラッシュが使用できます。

マイクロドライブ

大容量に対応した小型のハードディスクドライブです。CF＋TypeII（コンパクトフラッシュの拡張規格）準拠のマイクロドライブが使用できます。

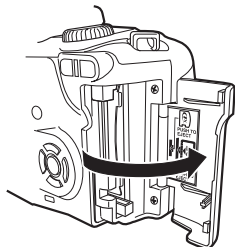
xD- ピクチャーカード

超小型の記録メディアです。容量 1GB まで各種揃っています。

マイクロドライブ使用時のご注意

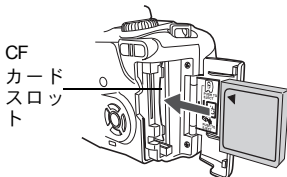
マイクロドライブは小型のハードディスクドライブです。回転系記録媒体のため、他のカードのような固体記録媒体に比べ、振動や衝撃に弱く、使用時（とくに記録中や再生中）は、カメラに振動や衝撃を与えないよう十分な注意が必要です。ご使用の前に以下の注意事項をよくお読みください。
マイクロドライブの取扱説明書もあわせてお読みください。

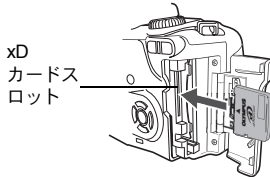
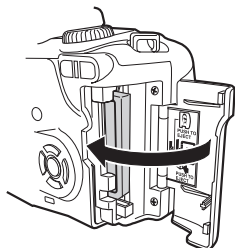
- 画像記録中にカメラを机などに置く場合は、カメラに衝撃を与えないでください。
- カメラをストラップで下げているときは、周囲にカメラをぶつけないよう注意してください。
- 工事などで地盤が振動している場所や、舗装の悪い道を走行中の車など、カメラに激しく振動が伝わる場所では使用しないでください。
- 強い磁気のある場所へ近づけないでください。

カードを入れる

1　カードカバーを開けます。

2　カードを入れます。

コンパクトフラッシュ／マイクロドライブの場合

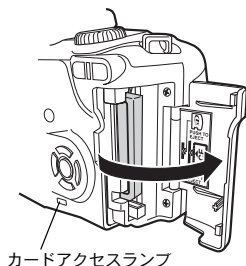
図のように端子面を差し込みます。

xD-ピクチャーカードの場合

図の向きに差し込みます。

3　カードカバーを閉じます。

注意

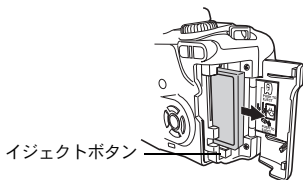
- カードはペンなどの先のとがったもので押さないでください。
- カメラの電源が入っているときは絶対にカードカバーを開けたり、カードや電池を取り出したりしないでください。カード内のデータが破壊されるおそれがあります。破壊されたデータの復旧はできません。

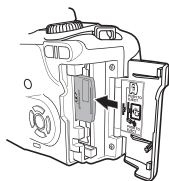
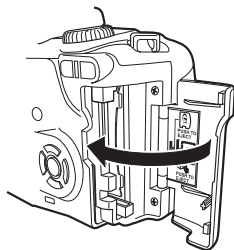
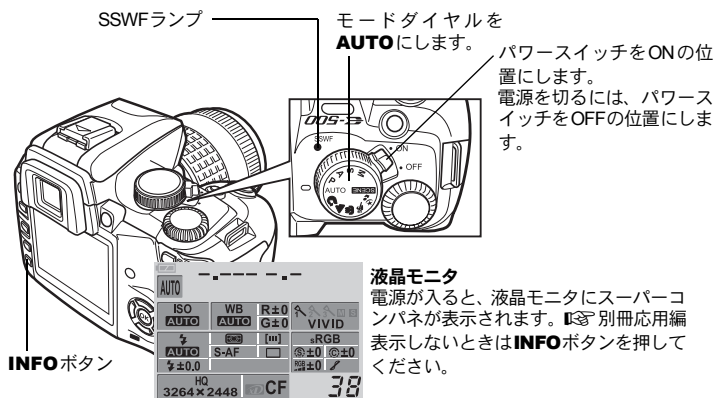
カードを取り出す

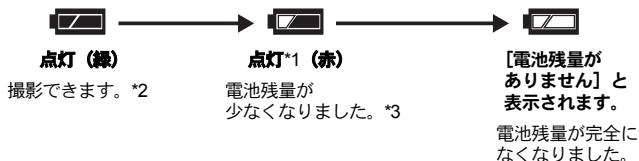
1 **カードアクセスランプが消えていることを確認します。**

2 **カードカバーを開けます。**

3 **カードを取り出します。**

コンパクトフラッシュ／マイクロドライブの場合

- イジェクトボタンを奥まで押し込むと、イジェクトボタンが出てきます。イジェクトボタンをもう一度奥まで押し込みます。
- カードが出てきます。
- イジェクトボタンを強く押すとカードが勢いよく飛び出してくる場合があります。
- カードをつまんで取り出します。

xD-ピクチャーカードの場合

- 図のようにカードを押すと、カードが出ます。

4 **カードカバーを閉じます。**

電源を入れる

電池残量マークについて

電源を入れたときや使用中に電池残量が少なくなると、電池残量の表示が変化します。

*1 ファインダ内表示では点滅します。

*2 デジタルカメラは、動作状態により消費電力が大きく変わります。カメラの動作状態によっては、電池残量の警告表示なしで電源が切れる場合があります。

*3 リチウムイオン充電池BLM-1：早めに充電してください。
リチウム電池CR123A：早めに交換してください。

ダストリダクション機能の作動

電源を入れたとき、CCD前面のゴミをスーパーソニックウェーブフィルター（SSWF）により払い落とすダストリダクション機能が自動的に働きます。ダストリダクション機能が作動中はSSWFランプが点滅します。

日時を設定する

日時の情報は画像とともにカードに記録されます。また、ファイル名も日付の情報をもとに付けられます。お使いになる前に必ず正しい日時を設定してください。

1 **MENUボタンを押します。**

2 **で［ 2］を選択し、を押します。で［日時設定］を選択したらを押します。**

3 **で日付の順序を、"年-月-日"、"月-日-年"、"日-月-年"から選択し、を押します。**

- 以下の手順は"年-月-日"に設定した場合の説明です。

4 **で年の項目を入力し、で月の項にすすみます。**

- を押すと、1つ前の項目に戻ります。
- "年"の上2桁は固定されています。

5 **同様の操作を繰り返し、時刻まで入力します。**

- 時刻は 24 時間表示です。午後 2 時は 14:00と表示されます。

6 **ボタンを押します。**

- 0 秒の時報に合わせて ボタンを押すと、正確に時刻を合わせられます。時計はこのとき動き始めます。

注意

- 電池を抜いた状態で約1日放置すると、日時の設定は初期設定に戻ります（当社試験条件による）。また、カメラに電池を入れていた時間が短い場合は、これよりも早く日時の設定が解除されます。大切なものを撮る前には、日時の設定が正しいことを確認してください。

カメラの構え方

1 **カメラのグリップを右手で包むように持ち、脇をしめます。**

2 **ひじを軽く体につけ、左手でレンズ部分を下から支えるように持ちます。**

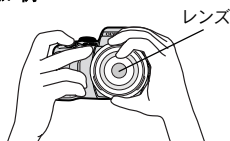
3 **カメラを構え、撮影します。**

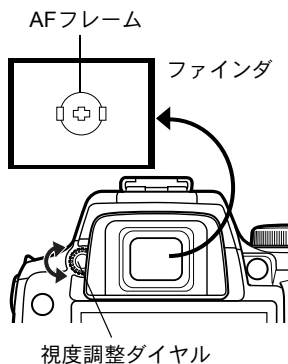
• 片足を軽く踏み出すと上半身が安定します。

縦位置

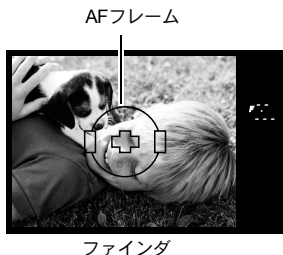
注意

• カメラを構えたときにレンズ前面に指やストラップがかからないように注意してください。

悪い例

ファインダの視度調整

レンズキャップを外します。
ファインダを覗きながら、視度調整ダイヤルを少しずつ回します。
AFフレームがはっきり見えたら調整完了です。

撮影する

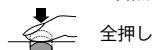
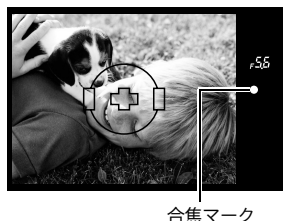
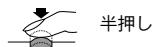
モードダイヤルを**AUTO**にセットしておきます。

1 ファインダをのぞきながらAFフレームに被写体を合わせ構図を決めます。

AFフレーム

ファインダ

2 ピントを合わせます。

シャッターボタンを軽く押します（半押し）。

- ピントが固定され、ファインダ内の合焦マークが点灯し、ピントの合ったAFフレームが点灯します。
- カメラが自動的に決定したシャッター速度や絞り値が表示されます。
- シャッターボタンが押されている間は、スーパーコンパネは消灯します。
- **AUTO** では暗いときには自動的にフラッシュがポップアップします。

3 撮影します。

半押しの状態から、さらにシャッターボタンを押し込みます（全押し）。

- 撮影され、シャッター音がします。
- カードアクセスランプが点滅し、カード記録が始まります。
- 1分*以上何も操作しないと、液晶モニタは消灯しカメラは動作を停止します。シャッターボタンなどのボタン操作をするとすぐに動作を再開します。その後約4時間何も操作をしないと自動的に電源が切れます。もう一度電源を入れなおしてください。

  * お買い上げ時の設定です。カスタムメニューで時間設定を変更することができます。

レックビュー

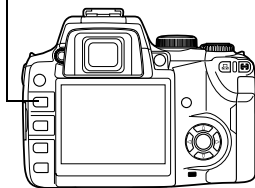
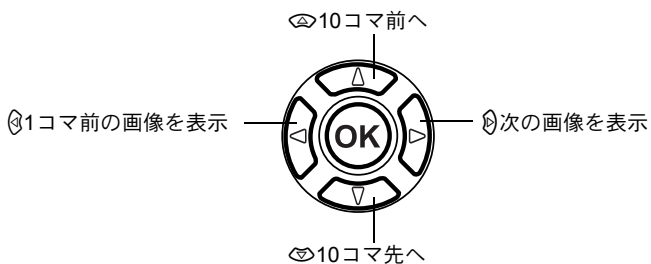
撮影した画像はカードに記録している間、液晶モニターに表示されるので、結果を確認できます。

- 表示時間は、オフ、1秒～20秒から選択できます（☞別冊応用編、P124）。
- 表示中でも撮影はできます。

注意

- シャッターボタンは静かに押してください。シャッターボタンを強く押すとカメラが動き、ぶれる原因になります。
- カードアクセスランプの点滅中は、絶対に電池やカードを抜かないでください。撮影した画像が保存されないだけでなく、保存済みの画像が破壊されるおそれがあります。
- 強い逆光などで撮影すると、画像の影の部分に色がつくことがあります。

再生する

1 ▶（再生）ボタンを押します。

2 ✣で表示したい画像を選択します。

- 再生を終了するときは、再度、▶ボタンを押します。
- シャッターボタンを半押しすると、撮影に戻ります。

OLYMPUS Master でできること

付属の CD-ROM には、画像編集・管理ソフト OLYMPUS Masterが収録されています。パソコンにインストールすると、以下のようなことができます。取り扱い方法は、OLYMPUS Masterをインストールして［ヘルプ］をご覧ください。

画像を編集する
画像を回転、トリミングしたり歪みを補正するなどの編集ができます。

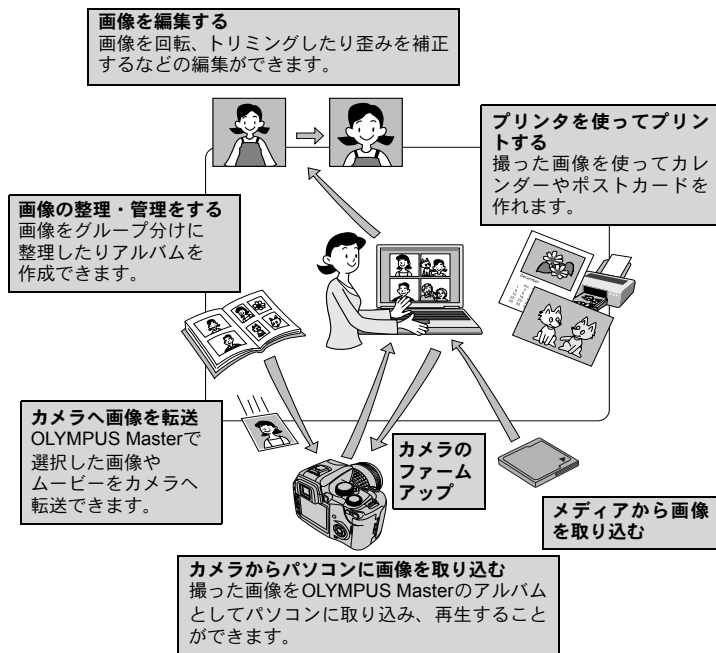
プリンタを使ってプリントする
撮った画像を使ってカレンダーやポストカードを作れます。

画像の整理・管理をする
画像をグループ分けに整理したりアルバムを作成できます。

カメラへ画像を転送
OLYMPUS Masterで選択した画像やムービーをカメラへ転送できます。

カメラのファームアップ

メディアから画像を取り込む

カメラからパソコンに画像を取り込む
撮った画像をOLYMPUS Masterのアルバムとしてパソコンに取り込み、再生することができます。

付属のCDを使ってパソコンにOLYMPUS Masterをインストールしてください。
OLYMPUS Masterからカメラのユーザ登録ができます。ユーザ登録をすると、オリンパスよりソフトやファームウェアのアップデートのお知らせなどが届きます。

資料

カメラ仕様

■ 型式

型式	：レンズ交換式デジタル一眼レフカメラ
使用レンズ	：ズイコーデジタル・フォーサーズシステムレンズ
レンズマウント	：フォーサーズマウント
35mmフィルム カメラ換算焦点距離	：レンズ焦点距離の約2倍

■ 撮像素子

型式	：4/3型フルフレームトランスファータイプ原色CCD
カメラ部有効画素数	：約800万画素
画面サイズ	：17.3mm(H)x13.0mm(V)
アスペクト比	：1.33（4:3）

■ ファインダ

形式	：TTL一眼レフファインダ
視野率	：上下左右とも約95％（対記録画像視野率）
ファインダー倍率	：約0.9倍（$-1m^{-1}$、50mmレンズ・無限遠）
アイポイント	：約10mm（$-1m^{-1}$時）
視度調整範囲	：-3.0～$+1.0m^{-1}$
光路分割	：クイックリターン式全面ハーフミラー
被写界深度確認	：ボタンをプレビューに設定することで可能
フォーカシング 　スクリーン	：固定式
アイカップ	：交換式

■ 液晶モニタ

型式	：2.5型TFTカラー液晶（ハイパークリスタルLCD）
総画素数	：約21.5万画素

■ シャッター

型式	：電子制御式・フォーカルプレーンシャッター
シャッター速度	：1/4000～60秒バルブ

■ オートフォーカス

型式	：TTL位相差検出方式
測距点	：3点（左・中央・右）
AF輝度範囲	：EV0～EV19
測距点選択	：自動選択・任意選択
AF補助光	：内蔵フラッシュによる（専用外部フラッシュでも可能）

■ 露出制御

測光方式	：TTL開放測光方式 （1）デジタルESP測光（49分割測光） （2）中央重点平均測光（49分割測光） （3）スポット測光（ファインダ画面の約2％）
測光範囲	：（1）EV1～20（デジタルESP測光/中央重点平均測光） （2）EV3～17（スポット測光） （常温・50mm F2使用・ISO100相当）
露出モード	：(1) AUTO:フルオート （2）P:プログラムAE(プログラムシフト可能)

	（3）A:絞り優先AE （4）S:シャッター優先AE （5）M:マニュアル
ISO感度	：100～400（800,1600の感度拡張可能）
露出補正	：±5EV（1/3,1/2,1段ステップで可能）

■ ホワイトバランス

型式	：撮像素子
設定方式	：オート/プリセット（7種）/カスタムWB /ワンタッチWB

■ 記録

記録媒体	：CFカード（タイプI,II準拠） マイクロドライブ（FAT32 対応） xD-ピクチャーカード
記録方式	：デジタル記録、TIFF （非圧縮）、JPEG （DCF 準拠）、RAW データ
対応規格	：Exif 2.2 、DPOF 、PRINT Image Matching II 、PictBridge

■ 再生

表示形式	：1コマ表示/拡大表示/インデックス表示/回転表示/スライドショー表示/ライトボックス表示/カレンダー表示
情報表示	：情報表示/ヒストグラム表示

■ ドライブ関係

ドライブモード	：1コマ撮影/連写/セルフタイマ/リモコン
連写性能	：2.5コマ/秒（最大連続撮影コマ数4コマ:RAW、TIFFのとき）
セルフタイマー	：12秒後撮影/2秒後撮影
光リモコン	：2秒後撮影/即時撮影（専用リモコンRM-1（別売））

■ フラッシュ

シンクロ同調	：1/180秒以下で同調
調光方式	：TTL-AUTO（TTLプリ発光式）/AUTO/MANUAL
外部フラッシュ接点	：ホットシュー

■ 外部コネクタ

USB端子/AV出力端子（マルチコネクタ）

■ 電源

電池	：リチウムイオン電池（BLM-1）1個またはリチウム電池 CR123A　3本（リチウム電池ホルダー LBH-1使用）

■ 大きさ・質量

大きさ	：129.5mm（横）× 94.5mm（高さ）× 66mm（奥行き）(突起部を除く)
質量	：約435g（電池含まず）

■ 動作環境

温度	：0～40℃（動作時）/ -20～60℃（保存時）
湿度	：30～90％（動作時）/ 10～90％（保存時）

外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

オリンパス イメージング株式会社

〒163-0914 東京都新宿区西新宿2の3の1 新宿モノリス

● ホームページによる情報提供について
製品仕様、パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&A等の各種情報を弊社ホームページで提供しております。
オリンパスホームページ **http://www.olympus.co.jp/** から**「お客様サポート」**のページをご参照ください。

● 製品に関するお問い合わせ先（カスタマーサポートセンター）

フリーダイヤル **0120-084215**
携帯電話・PHSからは 0426-42-7499
FAX **0426-42-7486**

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

● カスタマーサポートセンターの営業日・営業時間、最新情報についてはオリンパスホームページにて情報提供しております。
オリンパスホームページ http://www.olympus.co.jp/ から
「お客様サポート」のページをご参照ください。

● 修理に関するお問い合わせ・修理品ご送付先（修理センター）、国内サービスステーション（修理窓口）につきましては、本製品に同梱の「オリンパス代理店リスト」、またはオリンパスホームページ
http://www.olympus.co.jp/ から
「お客様サポート」のページをご参照ください。

● 記載内容は変更されることがあります。最新情報はオリンパスホームページ
http://www.olympus.co.jp/ をご確認ください。

Printed in China

VH341501